



2026年2月13日

各 位

会 社 名 HYUGA PRIMARY CARE 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒木 哲史  
(コード : 7133 グロース市場)  
問合せ先 取締役最高財務責任者 大西 智明  
(TEL. 092-558-2120)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,194	百万円 1,314	百万円 1,269	百万円 883	円 銭 123.95
今回修正予想 (B)	12,194	1,000	964	664	93.15
増 減 額 (B-A)	—	△314	△305	△219	
増 減 率 ( % )	—	△23.9	△24.0	△24.8	
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	9,984	1,051	1,022	719	101.12

### 2. 修正の理由

当連結会計年度の業績につきましては、全社的な採用コストの上昇、当初の業績予想で見込んでいなかった県下初進出の店舗に係る立ち上げコストの影響及び新規施設の医療人材の採用不振などによる医療サービスの構築遅延の影響のため、2026年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

セグメントごとの主な要因は次のとおりです。

在宅訪問薬局事業においては、過去最多の新店出店や既存店の在宅患者数の想定を上回る増加により、売上高は227百万円の上振れの見込みとなりました。営業利益は新店舗の出店コスト及び第3四半期末時点での想定在宅患者数に早期に達したことにより、採用、労務、育成コストが大きく先行しました。今後は、採用した人員の育成が進み店舗運営効率は上がる見込みですが、先行したコストの回収が当期中には難しいと判断し、通期連結業績予想から△182百万円の差異を見込んでおります。

きらりプライム事業においては、営業活動の好調及び新サービス（エイドプライム）の案件が順調に推移しており、売上高は110百万円、営業利益は143百万円の上振れを見込んでおります。

プライマリケアホーム事業においては、新規施設である「プライマリケアホームひゅうが熊本はません」及び「プライマリケアホームひゅうが久留米聖マリア病院前駅」で開設直後の医療人材の不足による医療サービスの構築遅延により、客単価が上げられず、施設単体の利益目標に届かない月が発生いたしました。現在は受入態勢、客単価共に当初計画の水準に戻りつつあり、施設単体での単月黒字化は達成しておりますが、この累積影響額を当期中に回復することが難しいと判断し、売上高で△337百万円、営業利益で△186百万円の差異を見込んでおります。

以上の結果、当社の通期連結業績予想について、連結売上高は据え置きの12,194百万円、連結営業利益は1,000百万円（当初予想1,314百万円）、連結経常利益は964百万円（当初予想は1,269百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は664百万円（当初予想883百万円）へ修正いたします。

なお、期末配当予想は、1株当たり20円00銭（年間配当金1株当たり20円）を予定しており、従来予想から変更ございません。

(注) 上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により、異なる可能性があります。

以 上